

# 公益財団法人 浜松市文化振興財団

令和 4 年度 事業計画

令和 4 年度 収支予算

# 令和4年度 事業計画

## 【概要】

### 1. 総括

令和2年度と3年度においては、新型コロナウイルスによる制約を受けながらも、知恵を出し合い工夫を重ねながら芸術文化活動の歩みを着実に進めてきました。この間、利用者の意識や行動は新しい生活様式に対応したものと変化し、そこから新たなニーズが生まれてきました。

当財団では、このニーズに対する迅速な対応力を意識し、運営に取り組みました。

令和4年度においては、社会状況にあわせ、感染防止対策の徹底と芸術文化活動を両立する運営を適切に進めるとともに、音楽のみならずアートをはじめとした多様な芸術文化活動への展開により人々の創造性をさらに喚起し、芸術文化が活力を生む創造性豊かな浜松市の実現に寄与します。

### 2. 芸術文化振興への主な取り組み

#### (1) 芸術文化公演の企画運営について

鑑賞型事業については、当財団の強みである舞台芸術に関する専門性を活かし、質の高い芸術文化の鑑賞機会の提供を目指します。

令和4年度は、新型コロナウイルスの感染状況を見極めるなかで、海外からの招聘公演のほか、バレエやミュージカル等の大型舞台公演、浜松ゆかりのアーティストや今後の活躍が期待される若手演奏家にスポットをあてた公演など多彩なジャンルの事業を企画します。

#### (2) 芸術文化活動等の支援について

様々な分野の市民文化団体等が芸術文化を通し地域の活性化や社会課題の解決に取り組む土壌づくりを目指します。

財団が担っている芸術文化事業を起点として、人と人、人と活動、活動と活動をつなげ、新たなネットワークの構築や発想からの展開、交流による相乗効果を促進するなど、中間支援の機能を最大限に発揮します。

特に浜松アーツ&クリエイション事業においては、創造性ある活動にトライする人材の発掘・育成・交流を促進するため、様々な支援活動に取り組みます。

個々の活動について、そのアイデアや視点の先駆性や創造性を多くの人に認めてもらうことが重要であるため、活動の見える化に焦点を置いた発信の支援などにより応援者を増やし、活動の継続化に寄与したいと考えます。

#### (3) 浜松市とともに推進する共催・負担金事業等について

芸術文化のもつ効用を最大限に活かし、芸術文化を都市の活力につなげ、市民の誇りとなる取り組みを目指します。

浜松国際ピアノコンクール事業については、新型コロナウイルスによる渡航制限により、残念ながら第11回(2021年)の開催は叶いませんでしたが、次回第12回(2024年)に向けて、過去コンクールゆかりの演奏家による関連事業を企画するなど、開催への機運醸成を図ります。

次代の芸術文化の担い手の育成については、芸術文化に触れる機会の創出から世界で活躍するアーティストの発掘まで、アクトシティ音楽院事業を中心に、浜松市市民音楽ホール(通称サーラ音楽ホール)事業等との連携を活かし、創造性ある未来人材の育成に取り組みます。

### 3. 所管施設の運営について

#### (1) 指定管理施設の運営について

令和4年度は、新規の指定管理施設となる浜松市秋野不矩美術館を含め10施設の指定管理を受託します。

受託にあたっては、浜松市の「文化振興ビジョン」に示された各施設の担う役割を認識し、指定管理者協定に基づく適切な管理運営に取り組みます。

新規施設となる秋野不矩美術館においては、浜松市美術館との相互連携により展覧会や調査研究の充実に取り組むとともに、地域とのかかわりを通して本市の魅力を市内外に積極的に発信するなど、地域の活性化にも努めます。

浜松市が計画するアクトシティ浜松の大規模修繕については、市との連携のもと、予約受付などの業務において混乱のない円滑な対応を進めるとともに、市の工事計画策定などについても最大限の協力体制で臨みます。

#### (2) 施設の利用促進について

コロナ禍における施設の利用促進を図るため、地域の実態、利用者のニーズなど施設ごとの特徴をつかみ、適切な対応を進めます。

特に施設のオンライン環境については、リモート形式の会議が増加傾向にあることを踏まえ、コンベンション需要が高いアクトシティ浜松を中心に充実した通信環境と設備の活用方法を積極的にPRし、更なる利用促進を目指します。

また、令和3年度において録画や録音など収録会場としてのホール利用の増加がみられたことから、浜松市市民音楽ホールや浜松市天竜壬生ホールを中心に、施設の特徴を活かした利用方法を積極的に広報し利用促進につなげます。

今後においても、社会の変化に柔軟に対応できる施設運営を目指します。

### 4. 法人経営計画

社会や環境変化等に柔軟に対応するため、常に運営を見直すことができる組織を目指します。

大規模地震などの自然災害、感染症のまん延などの危機時を想定して作成したマニュアルについて、訓練等を通じて継続的な見直しを図ります。

また、ソーシャルメディア利用のリスク管理についても、令和3年度に引き続き研修を進め、SNS利用ガイドラインや個人情報の取り扱い等を徹底します。

さらには、創造性ある職員の育成に向け、芸術文化の専門知識の向上、人と人をつなぐコーディネータ力の向上、SDGs活動の事例等について研修の機会を設けるとともに、事務改善提案にも取り組みます。

# 1 芸術文化を育成、振興するための文化事業の提供と、芸術文化の調査、情報収集、発信及び継承

## (1) 芸術文化公演の企画、運営及び提供

### ① 事業方針

令和4年度は、新型コロナウイルスの感染拡大状況等を見極めるなかで、海外からの招聘公演のほか、バレエやミュージカル等の大型舞台公演などを企画し、多彩なジャンルの公演を鑑賞いただけるようチャレンジします。

また、当財団独自の選定による今後の活躍が期待される若手演奏家のシリーズ企画「アクト・ニューアーティスト・シリーズ」を継続開催するほか、浜松にゆかりのある芸術家による公演を開催するなど、これまで培ってきた経験とネットワークにより浜松オリジナルの事業を企画します。

### ② 重点的に取り組む事項

- ・世界的な名演奏家たちによるコンサートシリーズ「アクト・プレミアム・シリーズ」では、現代最高のヴァイオリニストの一人であるワディム・レーピンやウィーン・フィルとベルリン・フィル、ウィーン響の首席奏者5人による木管五重奏団“アンサンブル・ウィーン＝ベルリン”、第4回浜松国際ピアノコンクール優勝者で国際的に活躍するアレクサンダー・ガヴリリュクなど豪華な出演者で開催します。
- ・オーケストラ事業では、10月に開催されたショパン国際ピアノコンクールにて日本人最高位となる2位に入賞した反田恭平が佐渡裕・新日本フィルハーモニー交響楽団とともに登場します。
- ・コロナ禍で開催困難となっていた大型舞台公演では、老舗バレエ・カンパニー、松山バレエ団の代表作「ロミオとジュリエット」やミュージカル「ミス・サイゴン」、3年ぶりとなる歌舞伎公演をお届けします。
- ・浜松ゆかりのアーティストでは、日本を代表するピアニスト仲道郁代や、数々の国際コンクールでの受賞歴を持つ浜松在住のチェリスト横坂源のリサイタルのほか、浜松在住の女優、熊谷真実が主演する演劇「世襲戦隊カゾクマン」を開催します。

事業名		会場	開催予定日	内容
アクト・ニューアーティスト・シリーズ (クラシック界注目の若手演奏家によるアクトシティ独自のシリーズ企画)				
No. 133 景 晨陽 (ハープ)	アクトシティ浜松 音楽工房ホール		5/8	2021年 草加-日本 国際ハープコンクール 第3位
No. 134 老川 鈴唄 (ソプラノ)			7/10	2021年 日本演奏家コンクール 第1位・朝日新聞社賞
No. 135 千葉 遥一郎 (ピアノ)			9/25	2021年 モントリオール国際音楽コンクール 第2位
No. 136 トリオ・クッフオ (三重奏)			12/4	2021年 第12回ワールドオープン音楽コンクール 第1位
No. 137 クアルテット・インテグラ (弦楽四重奏)			2/12	2021年 バルトーク国際コンクール 第1位

事業名	会場	開催予定日	内容
アクト・プレミアム・シリーズ (一流演奏家によるコンサートシリーズ。コンサートホールである中ホールで開催するプレミアムなコンサートを展開。)			
Vol. 26 ワディム・レーピン (ヴァイオリン)	アクトシティ浜松 中ホール	7/8	神童から巨匠へ、進化を遂げる現代最高のヴァイオリニスト。
Vol. 27 河村尚子 (ピアノ)		8/31	クララ・ハスキル国際コンクール優勝、ドイツを拠点に国際的に活躍するピアニスト。
Vol. 28 アンサンブル・ウィーン＝ベルリン (木管五重奏)		9/28	ウィーンとベルリンの主要オーケストラのトップ奏者によって構成される世界最高峰の木管五重奏団。
Vol. 29 ジャン＝ギアン・ケラス (無伴奏チェロ)		12/20	現代最高峰の人気と実力を誇るチェリスト。浜松だけの特別ゲストとして、ケラスに6年間師事した横坂源を迎え師弟共演が実現。
Vol. 30 アレクサンダー・ガヴリリュク (ピアノ)		2/16	浜松国際ピアノコンクールを16歳で優勝、圧倒的なテクニックと表現力で聴衆を魅了するピアニスト。
フジコ・ヘミング スペシャルコンサート	アクトシティ浜松 大ホール	4/25	「魂のピアニスト」フジコ・ヘミングとスロヴァキア放送響首席指揮者、マリオ・コシック指揮、東京フィルハーモニー交響楽団の協演。 共催：コンサート・ドアーズ
The Road to 2027 プロジェクト in 浜松 仲道郁代 ピアノ・リサイタル Vol. 5 「知の泉」	アクトシティ浜松 中ホール	5/21	浜松出身の日本を代表するピアニスト、仲道郁代が自身の演奏活動40周年となる2027年に向けて取り組むリサイタル・シリーズ。
佐渡裕 (指揮) / 反田恭平 (ピアノ) 新日本フィルハーモニー 交響楽団 50周年記念演奏会	アクトシティ浜松 大ホール	5/25	日本を代表する指揮者佐渡裕と2021年ショパン国際ピアノコンクールで第2位となった大人気ピアニスト反田恭平コンビが再登場。オーケストラは新日本フィルが登場。 共催：静岡朝日テレビ
松山バレエ団 「ロミオとジュリエット」 スペシャルバージョン	アクトシティ浜松 大ホール	5/28	日本を代表するバレエ・カンパニー、松山バレエ団の引っ越し公演。演目は同団の代表作「ロミオとジュリエット」。 共催：(公財)松山バレエ団
ディズニー・オン・クラシック ～夢とまほうの贈りもの2022	アクトシティ浜松 大ホール	6/4	ディズニー音楽を、物語を紡ぐ映像とともに、日本人ヴォーカリストとオーケストラの生演奏でお届け。 共催：K-mix
令和4年度 松竹歌舞伎舞踊公演	アクトシティ浜松 大ホール	7/18	コロナ禍、2年間中止となっていた歌舞伎公演。公演開催前には初心者にも観劇を楽しんでいただくための「歌舞伎プレセミナー(5/7)」も開催。 出演：中村芝翫 ほか 演目：操り三番叟、連獅子

事業名	会場	開催予定日	内容
第16回浜松いわた信用金庫 「夢に追いかぜコンサート in 浜松」	アクトシティ浜松 中ホール	7/24	毎年恒例のファミリーを対象としたクラシック コンサート。 ソリスト：小川典子（ピアノ） 共催：浜松いわた信用金庫、(公財) 浜松交響楽団
ざんねんないきもの事典 in アクトシティ浜松	アクトシティ浜松 展示イベント ホール	8/5～15	シリーズ累計販売数 450 万部『ざんねんないきもの 事典』の世界を、生き物や巨大ぬいぐるみなどで 体験。 共催：テレビ静岡、中日新聞東海本社、K-mix
Brand New Musical Concert 2022	アクトシティ浜松 大ホール	8/11	中川晃教、加藤和樹ら、日本のミュージカル界を 担うスターたちがオーケストラとともに心に残 る名曲をお届け。 共催：静岡朝日テレビ
古澤巖×山本耕史 コンサート 「Dandyism Banquet」	アクトシティ浜松 大ホール※	10/3	ヴァイオリニスト・古澤巖を中心とした凄腕ミュ ージシャンと俳優・山本耕史によるシェイクスピ アや近松門左衛門らの言葉と音楽で織りなすダ ンディズムなエンターテイメントステージ。
The Road to 2027 プロジェクト in 浜松 仲道郁代 ピアノ・リサイタル Vol.6「前奏曲～永遠への兆し」	アクトシティ浜松 中ホール	10/16	浜松出身の日本を代表するピアニスト、仲道郁代 が自身の演奏活動 40 周年となる 2027 年に向けて 取り組むリサイタル・シリーズ。
ミュージカル 「ミス・サイゴン」	アクトシティ浜松 大ホール	11/4～6	日本での通算上演回数 1,463 回を重ねる大ヒット ミュージカル。ベトナム戦争末期のサイゴンを舞 台に、ベトナム人の少女キムと米兵クリスの二人 の愛、別離、運命的な再会を歌う。 共催：テレビ静岡、中日新聞東海本社、K-mix
横坂源チェロ・リサイタル 2022	アクトシティ浜松 中ホール	11/23	チェリストの登竜門として知られる全日本ビバ ホール・チェロコンクールでの最年少優勝(15 歳) を初め、数々の国際コンクールで多数の受賞歴を 持つ浜松在住の国際的チェリストのリサイタル。
世襲戦隊カゾクマン I II III	浜北文化センター 大ホール	11/25～27	劇団 ONEOR8 の脚本・演出を手掛ける田村孝裕が 書き下ろした「戦隊ヒーローお茶の間劇」3 部作 を 3 日連続で上演。 出演：山口良一、熊谷真実、芋洗坂係長ほか
手寫葵 SYMPHONIC CONCERT 2023	アクトシティ浜松 中ホール	2/23	聴き手の心を揺さぶる類稀なる歌声で数々の主 題歌や CM ソングを手掛ける手寫葵とオーケストラ の共演。
富士山静岡交響楽団 定期演奏会（浜松公演）	アクトシティ浜松 中ホール	5 回	地元プロ・オーケストラによる定期演奏会。 (5/29, 6/26, 9/18, 11/20, 3/5) 名義共催事業。
市民講座 「絵画の中の音楽」（仮称）	静岡文化芸術大学	調整中	静岡文化芸術大学と提携した市民講座。年 3 回程 度開催。 共催：静岡文化芸術大学

※印 大ホール中規模（1・2 階席）で開催

## (2) 芸術文化事業の調査、情報収集及び情報提供

### ① 事業方針

令和4年度は、広報活動における変革の好機と捉え、デジタル広告にチャレンジします。新たにYouTubeによるデジタル広告を実施し、これまでのSNSとの連動により若年世代へ情報の発信に取り組みます。

また、引き続き文化情報誌「HCF News」を刊行し、所管施設を含め多くの職員が記事を寄稿することにより、文化活動の最新情報や当財団の活動を、文化活動者や愛好家、支援者、関係機関などのステークホルダーに発信するとともに、職員自身の広報への意識向上にもつなげます。

友の会においては、魅力ある公演や会員サービスの提供により会員の増加を目指すとともに、オンラインショップや電子チケットなどITサービスの利用促進を図ります。

情報誌等の紙媒体やデジタル媒体などの情報発信により、地域や世代を超え、様々なステークホルダーに当財団の活動を伝え応援いただき、本市における文化活動の活性化につなげます。

### ② 重点的に取り組む事項

#### ア アクトシティ浜松友の会「ビバーチェクラブ」の運営

- (ア) 財団主催事業や受託公演の情報提供として、毎月会員へダイレクトメールを送付
- (イ) 財団主催事業や受託公演のチケット販売（チケット代金の10%を会員割引）
  - ・電話予約もしくはオンラインショップによる予約
- (ウ) 会員へのサービス提供
  - ・文化情報誌「HCF News」及びイベントカレンダーの送付
  - ・浜松市楽器博物館入館料の割引
  - ・オークラアクトシティホテル浜松及びアクトプラザ店舗の利用サービス

#### イ 広報活動

- (ア) 財団ホームページの運営（<https://www.hcf.or.jp/>）
- (イ) 情報誌「HCF News」発行
  - ・発行部数10,000部、年4回
  - ・電子書籍による公開
  - ・財団事業及び施設紹介、文化団体紹介、ホテル飲食店紹介等を掲載
- (ウ) 令和3年度事業活動報告書の発行・配布、活動紹介映像の制作及びWeb上での公開
- (エ) デジタルサイネージの活用
  - （アクトシティ内財団受付、市民ロビー他での映像による広報）
- (オ) 事業チラシ・ポスター等の制作、配布及び各種広告・広報媒体への掲出
- (カ) アクトシティ浜松イベントカレンダーの発行
  - ・配布先：クリエート浜松・サーラ音楽ホールなど財団所管文化施設、図書館、協働センターなど市内文化施設、浜松市観光インフォメーションセンター、ホテル等への配布
  - ・発行部数10,400部、隔月発行
- (キ) YouTubeやSNS（Facebook、Twitter）を活用した広報活動

#### ウ HCF オンラインショップの運営

- (ア) チケット販売（委託販売を含む）
  - ・チケットセンターでの引き換え（友の会会員のみ）、宅配、コンビニ発券、電子チケットいずれかを選択可能。
- (イ) グッズ販売（財団作成CD・DVD・書籍・記念商品など）
  - 【取扱商品】
  - ・浜松国際ピアノコンクール関連製品（CD）
  - ・バンド維新関連製品（CD・スコア集・パート譜）
  - ・浜松市楽器博物館関連製品（CD・DVD・記念商品）

- ・浜松市秋野不矩美術館関連製品（図録、グッズ）
- ・浜松文芸館出版書籍

#### **エ アクトシティ浜松 インフォメーション・チケットセンターの運営**

- (ア) アクトシティ施設案内、公演情報の提供
- (イ) 財団チケット販売専用端末の設置及びチケットの販売（主催公演及び受託公演）
- (ウ) アクトシティ友の会会員へのチケット販売及び引き換え

### (3) 芸術文化活動の支援及び交流の促進

#### ① 事業方針

市民による芸術文化活動の成果発表の場として、浜松市民文化フェスティバルなどを開催するとともに、コンサートを企画する施設と演奏家をマッチングすることで、鑑賞者と演奏家双方の期待に応えます。こうした事業の実施には、当財団が培ってきた多様なジャンルの市民文化団体やアーティストとのネットワーク、公演開催のノウハウを活かして取り組みます。

また、音楽の都“浜松”の先駆的な事業としてバンド維新や東京藝術大学との早期教育プロジェクトに取り組むとともに、富士山静岡交響楽団との共催による0歳から入れるコンサートや指導者の育成事業などに取り組みます。

さらに、市民活動の支援として、特に芸術文化の力によって新しい価値観の創造や地域の課題解決につながる創造的な活動に対しては、浜松アーツ&クリエイション事業により、相談や助言など活動への伴奏支援や補助金の拠出を行うほか、活動への気づきとなるセミナーを開催します。また、市民による芸術文化活動については、助成金の交付とともに情報発信やチケットの販売促進など、活動への直接的な助力となる支援も行います。

#### ② 重点的に取り組む事項

- ・市民の日頃の活動の成果発表と団体間の交流を目的として、浜松市民文化フェスティバルや浜松市芸術祭演劇・人形劇部門を開催します。
- ・コンサートを企画する施設へ演奏家を派遣するとともに運営の助言を行うことで、芸術を鑑賞する機会と地域の演奏家の演奏機会を創出します。
- ・吹奏楽の新作への取り組みを通じて小中高校生と一流作曲家、地元指導者が交流するバンド維新LABO や、吹奏楽の指導者向け講習会、東京藝術大学との協働による子どもの可能性を引き伸ばすプロジェクトなどを通して、子どもたちや指導者の音楽的素養の向上を図ります。
- ・0歳から入れる親子クラシックコンサートや子ども音楽フェスティバルを通じて、幼少期から音楽に触れる機会を創出します。
- ・本市におけるジャズの大イベントであるハママツ・ジャズ・ウィークを、浜松市や民間企業と共催で開催します。
- ・市内における創造的な活動を支援するため、活動に対する相談や助言などの伴走支援のほか、補助金の交付や課題解決のためのセミナー開催など、アーツカウンスル事業を展開します。さらに、市民の芸術文化活動への助成や情報発信、チケット販売促進など、市民活動に対し総合的な支援を行います。

#### ア 文化振興事業

事業名	会場	開催予定日	内容
第52回 日本吹奏楽指導者クリニック	アクトシティ浜松	5/13～15	学校及び一般音楽指導者を対象とした講座・コンサート・バンドフリーマーケットの総合講習会。
浜松市民文化フェスティバル 2022	アクトシティ浜松 他市内諸施設	8～11月	地元市民団体や学校による音楽・舞踊公演。連盟や協会所属団体、市民公募による出演枠を設ける。(全11部門)
第30回 ハママツ・ジャズ・ウィーク	アクトシティ浜松 他	10/15～23	ジャズの恒例イベント。浜松市がジャズ一色になるほど多数のイベントを開催。共催：浜松市、ヤマハ株式会社、静岡新聞社・静岡放送、ヤマハ音楽振興会

事業名	会場	開催予定日	内容
第68回 浜松市芸術祭演劇・人形劇部門	アクトシティ浜松 クリエート浜松 浜北文化センター他	10～12月	市内の劇団による演劇・人形劇の公演。 (全6公演)
東京藝術大学音楽学部 早期教育プロジェクト2022 in 浜松	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	9/3, 4	東京藝術大学と地域とが協働して取り組む 逸材発掘プロジェクト。子どもの音楽的な 可能性を引き伸ばす方策を探るとともに、 子どもが相互に刺激し学び合う環境づくり を行う。
バンド維新 LABO	アクトシティ浜松	2/26	吹奏楽をテーマに市民・団体・作曲家・指導 者の交流を促し、次世代を担う市民の活動・ 交流を支援し活発化する。
子ども音楽フェスティバル	浜北文化センター	12/11	アクトシティ音楽院「子ども音楽セミナー」 受講生の成果発表の機会創出。邦楽・洋楽・ 吹奏楽の合同コンサートを開催。
0歳から入れる 親子クラシックコンサート in 浜松	浜北文化センター	10/8	富士山静岡交響楽団による幼児と保護者向 けの演奏会。 共催：静岡県、静岡県文化財団
演奏家運営事業	市内各所	通年	コンサートを主催したい施設の運営サポート を行うとともに、地域の演奏家に活動の場を 提供。
サポーターマネジメント	—	通年	財団事業を支援するボランティアスタッフの 募集・育成マネジメント。

## イ 浜松版アーツカウンシル事業

事業名	会場	開催予定日	内容
浜松アーツ&クリエイション 事務局運営 (浜松版アーツカウンシル)	—	通年	浜松版アーツカウンシルとして、中間支援組 織を運営。浜松市創造都市推進事業補助金の 公募から事業実施に対する相談・助言などの 伴走型支援を実施。加えて、補助金交付団体 以外の市内芸術文化団体にも同様の伴走型 支援や課題解決に向けたセミナーなどを開 催。令和3年度に引き続き、浜松地域の芸術 文化に関する調査研究も行う。

## ウ はままつ文化芸術活動助成事業（旧：文化団体活動支援助成金）

地域の芸術文化活動の充実と活性化を目的に、市民の文化活動を支援します。

令和4年度より、多くの皆様に活用いただくため、募集回数を年1回から2回に変更するとともに、前年度と同一の事業は、翌年度は申請できないなどのリニューアルを図ります。

- ・支援の内容：助成金の交付（助成上限額10万円）、広報活動支援、販売促進支援など

## エ 浜松市内文化団体・文化協会

### (ア) 浜松市浜松文化協会

旧浜松市で活動する主要文化団体によって構成され、各団体の活動状況の把握や意見調整等を行います。

### (イ) 浜松市内文化協会連絡会

合併後、浜松市となった地域の文化協会（11 団体）によって構成され、広域となった市の文化状況を把握するとともに支援を行います。

また、実施する文化活動に対し、「浜松市内文化協会助成金」を交付します。（助成上限額 15 万円）

## オ インターンシップ実習

県内・近隣県大学の学生を中心としたインターンシップの受け入れを行います。

#### (4) 浜松市の行う芸術文化事業の受託と協力

##### ① 事業方針

令和4年度も、音楽の都“浜松”を具現化する取り組みとして、次世代を担う人材の育成や都市間交流、まちなかにぎわいコンサート、浜松国際ピアノコンクールなどの事業を浜松市とともに推進します。

次世代を担う人材育成として、ジュニアオーケストラ浜松やジュニアクワイア浜松、アクトシティ音楽院の運営のほか、市内小学5年生全員を対象にしたオーケストラ鑑賞事業「こども音楽鑑賞教室」を開催します。また、音楽文化都市交流協定を結んでいる札幌市や宝塚市との演奏交流も行います。

市民の音楽活動の促進と街中の活性化、本市来訪者への音楽の都“浜松”の発信を目的に、プロムナードコンサートなどの街中でのコンサートを開催します。

浜松国際ピアノコンクールは、2024年の第12回コンクールへ向けた開催準備年であり、審査委員選定や募集要項の策定を行うほか、関連事業として過去のコンクールの優勝者などを招いたコンサートを開催します。

##### ② 重点的に取り組む事項

- ・ジュニアオーケストラ浜松やジュニアクワイア浜松、浜松吹奏楽大会、こども音楽鑑賞教室など子どもたちが音楽に触れるとともに自らが演奏する活動を通して、子どもたちの豊かな感性と創造力を育みます。
- ・アクトシティ音楽院では、浜松国際ピアノアカデミーなどの事業（アカデミーコース）により、世界で活躍する演奏家の浜松からの輩出を目指すとともに、市民が参加できるジャズや邦楽講座、主催者の養成講座（コミュニティコース）を開講します。
- ・上記2つの人材育成事業とサーラ音楽ホールや天竜壬生ホールでの人材育成事業が相互に連携するなかで、音楽の都“浜松”の未来を担う人材の裾野拡大から、世界で活躍する人材の発掘・育成までを推進してまいります。
- ・浜松駅前の風物詩であるプロムナードコンサートやまちなかにぎわいコンサートなどの開催により、市民や本市への来訪者に音楽の都“浜松”を体感していただくとともに、市民の音楽活動団体が、日頃の成果を街中で発表する機会とします。
- ・浜松国際ピアノコンクールの関連事業として、富士山静岡交響楽団の定期演奏会に第9回1位のアレクサンダー・ガジェヴを招聘するとともに、第10回1位のジャン・チャクムルと3位のイ・ヒョクなどを招いて、2台ピアノによるコンサートを開催します。

#### ア パイプオルガン関連事業

事業名	会場	開催予定日	内容
オルガンミニコンサート	アクトシティ浜松 中ホール	通年 (全4回程度)	アクトシティのパイプオルガンをより多くの市民に知っていただくための無料の短時間コンサート。
オルガンのパイプを作ってみよう	アクトシティ浜松 中ホール	8/11	夏休みの小中学生向けワークショップ。オルガンの音の鳴る仕組みを学びながら、紙でパイプを作成。
オルガン演奏会事業	福祉交流センター	2回程度	福祉交流センターのパイプオルガンを通じて、市民のオルガンに対する理解や関心を深める。

## イ まちなかコンサート開催事業

事業名	会場	開催予定日	内容
プロムナードコンサート	JR 浜松駅北口広場 「キタラ」他	4～11月	市内の学校及び一般の吹奏楽演奏団体が出演する屋外コンサート。市民に発表・鑑賞・交流の機会を提供。 協力：浜松市吹奏楽連盟
街かどコンサート	ギャラリーモール 「ソラモ」	7/24	市内で活動する合唱団が出演する屋外コンサート。 協力：浜松市合唱連盟
まちなかにぎわいコンサート	JR 浜松駅北口広場 「キタラ」他	4～11月	市内音楽愛好家団体が公演をプロデュース。合唱・ジャズ等の多彩なジャンルの団体が出演する屋外コンサート。

## ウ ジュニアオーケストラ浜松・ジュニアクワイア浜松運営事業

事業名	会場	開催予定日	内容
定期練習	市内諸施設	通年	団員の募集・育成・公演をマネジメント。音楽を通じて、豊かな感性を備え、文化的視野を持った青少年の育成を目的とする。
第28回定期演奏会	アクトシティ浜松	9月	
スプリングコンサート2023		3月	

## エ 浜松吹奏楽大会事業

事業名	会場	開催予定日	内容
浜松吹奏楽大会 2023			
第11回 全国中学生交流コンサート	アクトシティ浜松 中ホール	3/25	吹奏楽の普及とレベルの向上を目的とした全国規模の事業。キタラでのプロムナードコンサートをはじめ、市内中学校を会場とした地域交流プログラム、全国から参加した高校生の交流会等の関連イベントも同時開催。
第35回 全日本高等学校選抜吹奏楽大会	アクトシティ浜松 大ホール 他	3/26	

## オ 都市間交流事業

事業名	会場	開催予定日	内容
音楽文化都市交流事業	札幌コンサート ホール Kitara 他	10～11月	本市が音楽文化都市交流協定を結んでいる札幌市や宝塚市との演奏交流事業。

## カ こども音楽鑑賞教室事業

事業名	会場	開催予定日	内容
第22回こども音楽鑑賞教室	アクトシティ浜松 大ホール	2/15, 16 全4回公演	市内全小学5年生を対象に良質なオーケストラ演奏に触れる機会を提供。

キ アクトシティ音楽院事業

事業名	会場	開催予定日	内容
<b>■アカデミーコース</b> （世界レベルで活躍する演奏家の育成と世界に向けた音楽文化発信事業）			
第28回浜松国際管楽器 アカデミー&フェスティバル	アクトシティ浜松	8/2～7	海外演奏家を講師として迎え、管楽器の奏者を育成するための短期セミナーと、講師陣によるコンサートを開催。
浜松国際ピアノアカデミー 2023	アクトシティ浜松	1/29～2/5	世界的ピアニスト育成のためのマスタークラスと市民を対象とした講座・イベントを開催。
修了生公演事業	市内小中学校 他	随時	アクトシティ音楽院修了生に、市内外の音楽活動の場を提供する公演企画。
<b>■コミュニティコース</b> （市民が参加・体験できる講座の開催と人材育成事業）			
ジャズクリニック	市内諸施設	日時未定 (全3回)	守屋純子氏他による市内学校・音楽団体を対象とした指導。
吹奏楽セミナー	アクトシティ浜松	4/10	保科洋音楽監督を講師に、吹奏楽課題曲講習会を開催。
	市内小学校 他	4～2月 (全5回)	浜松ジュニアブラスを対象としたパート別講座と基礎合奏を学ぶ合奏講座他を開催。
	未定	9月	多様なアンサンブル楽譜を用い、楽器編成や演奏表現の可能性を探る指導者向け講座。
ジャズ譜貸出事業	—	通年	金管バンド用、吹奏楽用等に編曲したジャズ譜を、市内アマチュア音楽団体を対象に無料貸し出し。
「交響組曲『ピーターパン』 (吹奏楽版)」音源・楽譜貸出事業	—	通年	教育文化奨励賞受賞、浜松ゆかりの芸術家佐藤賢太郎氏が制作した楽曲の音源・楽譜を、アマチュア音楽団体へ無料貸し出し。
主催者育成セミナー	アクトシティ浜松 研修交流センター	5～3月 (全12回)	演奏家と聴衆を繋ぐ役割としての音楽イベント主催者を育成。事業開催実践セミナー。2月に受講生の企画によるコンサートを開催。
合唱セミナー	アクトシティ浜松 他	6,1月 他 (全3回程度)	NHK 全国学校音楽コンクールの課題曲講習会や合唱指導法、発声法などを学ぶ講座を開催。
音楽指導者派遣事業	市内学校・団体	通年	音楽指導者登録者を地元の音楽活動へ派遣し、音楽活動の活性化と人材活用を図る。
子ども音楽セミナー	市内諸施設	11～12月	小中学生を対象にした吹奏楽、洋楽、邦楽の体験型セミナー等を開催。

## ク 浜松国際ピアノコンクール事業

### (ア) 第12回コンクール開催準備

- あ 実行委員会・運営委員会の開催
- い 専門委員の選任、専門委員会の開催  
審査委員候補、募集要項案の策定
- う 公式デザイン案の策定
- え 優勝者・入賞者特典の策定

### (イ) 国際音楽コンクール世界連盟、アーリンク・アルゲリッチ財団との提携

### (ウ) 関連事業の開催

- あ 富士山静岡交響楽団 第111回定期演奏会  
(6/25 静岡市清水文化会館マリナート、6/26 アクトシティ浜松中ホール)  
出演：アレクサンダー・ガジェヴ (第9回浜松国際ピアノコンクール第1位)

### い 2台ピアノによるコンサート

(12/18 アクトシティ浜松中ホール)

- 出演：ジャン・チャクムル (第10回浜松国際ピアノコンクール第1位)  
イ・ヒョク (第10回浜松国際ピアノコンクール第3位)  
今田 篤 (第10回浜松国際ピアノコンクール第4位)  
梅田智也 (第10回浜松国際ピアノコンクール日本人作品最優秀演奏賞)

## 2 芸術文化活動促進と地域社会活性化の拠点となる施設の整備、貸与及び運営

### (1) アクトシティ浜松

#### ① 運営の考え方

令和4年度は、会議におけるWEB利用や小規模会議の増加など、コロナ禍における会議形態の変容が今後も継続すると想定し、こうした新たな需要に対応すべく運営を進めます。

これまでに取り組んできたネット環境の改善や、WEB配信に必要な機材の貸出しなどの充実したサポートサービスを、これまでの利用者に加えてPCO（学会運営会社）などの業界にダイレクトに発信するとともに、施設の効果的な活用方法を提案することで、コンベンションから日常の会議利用まで、アフターコロナにおいて選択される施設を目指します。

さらには、商業施設やホテルと常に連携を図ることで、アクトシティの賑わいを創出するとともに、施設利用者に限らない多くの市民にアクトシティへの関わりを持っていただけるよう、活性化事業を推進します。

#### ② 重点的に取り組む事項

- ・コロナ禍においてWEBを利用した会議やイベントが増加していることから、これまでに改善したインターネットの通信環境を積極的にPRすることにより、施設の利用促進を図ります。
- ・利用形態として小規模な会議室の需要が高まっていることから、プロジェクトチームを立ち上げて現状分析や利用者ニーズを把握することにより、更なる活用につなげてまいります。
- ・学会に多いハイブリッド開催（現地、オンライン）に対応するため、引き続き大型コンベンション専任担当を配置し、上記通信環境や立地の優位性を発信することにより、大型コンベンションの誘致を進めます。
- ・小ロットの弁当やスピーカーマイク等の配信機材レンタルなど、ウイズコロナにおいて必要とされるサポートサービスメニューの拡充に加え、WEB予約機能の充実など、利用者に喜ばれるサービスを提供することにより、リピーター獲得につなげます。
- ・屋外広場でのイベントの実施や普段見られない施設の裏側を巡るバックステージツアーの開催、館内にアートを用いた装飾を施すなどして、施設利用者にとどまらず、より多くの方に来館いただける機会の創出に努めます。

事業名	開催予定日	内容
ウイズコロナにおける施設利用の促進（4事業）		
通信環境のPR	通年	ホームページに通信環境の専用ページを設けるとともに、浜松・浜名湖ツーリズムビューローの協力を得て、コンベンション誘致パンフレット等の印刷物にも掲載。より多くの利用者へ周知を図り、配信機材レンタルによる利便性向上を目指す。
利用者ニーズの把握と利用の促進	通年	コロナ禍において大きく変化している利用者のニーズを的確に把握するため、課内にプロジェクトチームを立ち上げ、アンケートの活用や現状分析を行うことで利用促進につなげる。
コンベンション誘致	通年	時間や費用面で主催者の負担が大きいハイブリッド開催での負担軽減を図るため、コンベンション専任の担当者を配置。ハード・ソフト両面からスムーズな大会運営をサポートすることにより、数年先を見据えた誘致へとつなげる。

事業名	開催予定日	内容
サポートサービスの充実	通年	会議室では少人数による WEB 会議、WEB 講演会での利用が増加。少数から発注できる高価格帯の弁当の開拓やスピーカーマイク、エクステンダーセット等、オンライン配信に必要な機材レンタルの充実を図る。
アクトシティ活性化事業 (3 事業)		
アクトシティでやらまいか浜松まつり	5/3~5	浜松まつり期間中サンクンプラザにて、吹奏楽やダンス、歌のライブパフォーマンス等を実施。
アクトシティ大冒険!	8/12	アクトシティ浜松の大ホールやホテルの裏側および制振装置など普段見られないところを大冒険する、バックステージツアー。今回は複数のコースを設定することで、より多くの方が参加できるよう調整を行う。
クリスマス企画	11 月~12 月	浜松ゆかりの若手アーティストに依頼し、市民ロビーやアクトタワーなどにアートを活用した装飾を施すことで、クリスマスの機運を盛り上げる。

## (2) クリエイト浜松

### ① 運営の考え方

音楽・ダンス・絵画・工作・写真・書道・茶道・華道など、さまざまなジャンルの市民文化団体が本施設を利用し文化活動を行っています。こうした団体を支援するとともに、団体間の積極的な交流や連携を促進することで、本市における市民文化活動の拠点としての運営に取り組みます。

令和4年度は、当館で活動する市民文化団体の情報に加え、個人で活動している市民アーティストの情報をデータベース化して積極的に発信することにより、団体間や個人間での連携や協力を促進し、活動の活性化を図ります。

また、浜松国際交流協会や中部協働センター、人権啓発センターなどクリエート浜松内に同居する機関が連携し、文化振興や生涯学習、多文化共生、人権啓発などの事業を協働して展開します。

### ② 重点的に取り組む事項

- ・地域で活躍する団体・個人に、生涯学習活動の成果発表・作品展示の場を提供することで、文化活動団体の育成支援、地域コミュニティの一層の醸成、生涯学習活動の魅力周知を行います。
- ・SNS やホームページ等を活用し、当館を利用している市民文化団体の情報を積極的に発信することで、活動の活性化を図ります。
- ・個人で活動している市民アーティストの活動情報を収集・データベース化し、その情報を公開することで、活動者同士がつながるシステムを構築します。
- ・浜松国際交流協会との共催で、多文化共生や国際交流をテーマとしたグローバルフェアを開催し、市民が多様な文化に触れる機会を創出します。

事業名	開催予定日	内容
自主事業 (3事業)		
クリハマ楽校	通年	参加者自らが興味関心のある講座を企画開催する事業。参加者同士のコミュニケーションの場を創出。
ふれあい広場活性化事業 Creative Gala (クリエイティブ・ガラ)	通年	地域の文化活動活性化のため、ふれあい広場を無料提供する事業。
夏休み親子工作教室	夏休み期間	アトリエを使用した、親子対象の工作教室。
自主事業 (共催事業 5事業)		
Collabo with! クリエイト (コラボ・ウィズ)	随時	文化団体等から企画提案された浜松の文化振興に寄与する事業を共催者として支援。
第25回リフレッシュ理科教室	6/25	静岡大学教授のレクチャーによる理科実験工作。 共催：(公財)応用物理学会
クリエートの夏まつり	8/21	地域住民や関係機関と連携し、地域及び施設の活性化を目的に実施、文化イベントや物販などを行う。 共催：市中部協働センター、市人権啓発センター、 (公財)浜松国際交流協会
クリエートの冬まつり	1/21, 22	地域住民や関係機関と連携し、地域及び施設の活性化を目的に実施、文化イベントや物販などを行う。 共催：市中部協働センター

事業名	開催予定日	内容
第13回 はままつグローバルフェア	未定 (2月中旬 予定)	フェアトレードショップや国際交流ブースを設けたイベント。着物などの日本文化にも触れられる場とする。 共催：はままつ国際理解教育ネット、(公財)浜松国際交流協会
その他の事業・機能 (3事業)		
活動情報の収集・データベース化事業	通年	市民アーティストの活動をデータベース化し、活動者同士の連携を構築。
文化情報発信事業	通年	当施設利用の同好会文化団体への取材と情報発信を実施。
インターンシップ実習	夏期～ 秋期	県内・近隣県大学の学生を主としたインターンシップの受け入れ。

### (3) 浜松市浜北文化センター

#### ① 運営の考え方

浜北文化センターは、文化ホールとしてアクトシティ浜松に次ぐ規模であり、浜北地域の文化活動の拠点となっています。本地域では近年、大型商業施設の進出や宅地開発により若いファミリー層が増加しているとともに、昔からの歴史や伝統、文化が地域の住民によって継承されています。

令和4年度は、こうした地域の特性を考慮し、ファミリーで参加できるコンサートや市内で活動する市民吹奏楽団が一堂に会するコンサート、当館を拠点に活動する文化団体による合同文化祭など、幼児から高齢者まで多様な世代が文化活動に参加できる環境を、近接のなゆた浜北と連携するなかで提供します。

また、当館は市中心部から電車で直結している利便性とキャパシティに対する手頃な施設利用料が強みとなっています。こうした強みを、デジタルメディアを通じて広く発信するとともに、文化団体や興業者などの主要なターゲットにPRするなど、更なる施設の利用促進を図ります。

#### ② 重点的に取り組む事項

- ・ゆるやかコンサートや子どもたちのためのワークショップなど、乳幼児を含むファミリーが一緒に楽しめる機会を提供します。
- ・当館を拠点に活動する文化団体が日頃の成果を発表する「はまきたまると文化フェス」を、なゆた浜北と連携して開催するとともに、館内の共用スペースに、地域の文化団体が作品を展示します。
- ・当館は、市域の吹奏楽団に練習や本番でよく利用されています。浜松市民バンドフェスティバルは、そうした市民楽団が一堂に会する祭典で、日頃の成果披露の場であり多彩な演奏を聴くことができる機会として開催します。
- ・毎年恒例の浜北寄席を、芸能生活55周年を迎え円熟味を増す桂文枝を招聘して開催することにより、地域住民が大衆芸能を鑑賞する機会とします。
- ・交通の利便性や手頃な施設利用料など、当館の強みをホームページやSNS等により広く発信するとともに関係団体や業界にターゲットを絞ってPRすることにより、施設の利用促進を図ります。
- ・当館のホールは演劇にもよく利用されています。主に学生などによる演劇公演を想定した舞台裏方体験講座を開催し、舞台知識を得る機会を提供するとともに、当ホールの利用促進につなげます。

事業名	開催予定日	内容
自主事業 (10事業)		
妊婦さんとお母さんのための「ゆるやかコンサート」シリーズ 春、夏、秋、冬	5/24, 7月, 9月, 12月予定	乳幼児のいる家族や妊娠中の方などを対象とするコンサート。浜松市の内外で活躍する演奏家が出演し、お子様と一緒に音楽を楽しむ機会を提供。
「ゆるやかコンサート」特別編	2月予定	いつものゆるやかコンサートシリーズとは趣向を変え、クラシックにこだわらないプログラムにより乳幼児から大人まで幅広い世代が楽しめるコンサートを開催。
お母さんと子どもたちのためのゆるやかワークショップ	9月予定	母子がリズムに乗りながら楽しめるエクササイズ。赤ちゃんとのコミュニケーションや遊びを通じて、参加者同士の交流も図る。
はまきたまると文化フェス	1/21, 22	なゆた浜北と合同で行う文化祭。当館を拠点に活動する文化団体が集まり発表をし、浜北エリアの一大文化イベントを開催。

事業名	開催予定日	内容
舞台裏方体験講座	冬頃予定	主に演劇の自主公演などで必要な舞台照明や音響等の知識に触れてもらう講座。当館のホールを教室として講義を行う。
第13回浜松市民バンドフェスティバル	2/5	市内で活動する市民吹奏楽団が一堂に会する吹奏楽の祝祭。成果披露の場および多彩な演奏を聴くことができる機会を提供。 共催：浜松市民バンド協議会
第38回浜北寄席「桂文枝 独演会」	2/12	地域寄席としてお馴染みの催し。芸能生活 55 周年を迎えて円熟味を増す桂文枝の独演会を開催。
貸館広報事業	通年	貸館の利用を促進することを目的として施設の広報を充実させる。ホームページの改修や貸館案内等印刷物の作成配布により施設の利用を促す。
文化団体作品展示事業	通年	コロナ禍において作品発表の機会を減らしている地域の文化団体へ発表の場を提供し、併せて北館の共用スペースの活用も図る。
インターンシップ実習	夏期～ 秋期	県内・近隣県大学の学生を中心としたインターンシップの受け入れ。

#### (4) 浜松市なゆた・浜北

##### ① 運営の考え方

なゆた・浜北は、ホール、控室、練習室及び駐車場部分の管理運営について、当財団と株式会社なゆた浜北が共同事業体を組み、浜北文化センター及び市民ミュージアム浜北を含む3施設を一括して指定管理を受けています。

令和4年度は、令和3年度に予定しコロナ禍のため急遽中止となった、なゆた浜北開館20周年、浜北文化センター開館40周年記念の協働事業「はまきたまるごと文化フェス」を実施するほか、映画祭やお笑いライブ、ジャズフェスティバルなどの文化事業や、はまきた駅前前の活性化のため、朝市などを開催します。

##### ② 重点的に取り組む事項

- ・浜北文化センターと協働で、はまきたまるごと文化フェスを開催します。
- ・より幅広い年代のニーズに応えるため、お笑いライブやジャズフェスティバル、映画祭などミドル世代、シニア世代に向けた事業を実施します。
- ・浜北駅前のにぎわいを創出する事業として、地域の生産者による地元産の新鮮な野菜や果物の販売などを行う、なゆた朝市を開催します。
- ・浜北文化センターと連携し、ホール空き日の情報提供や広報活動を行い、両館の施設稼働率向上や各事業の参加者増加への相乗効果を図ります。

事業名		開催予定日	内容
自主事業 (8事業)			
	はまきたまるごと文化フェス	1/21, 22	浜北文化センターとの協働により、両施設の利用者に感謝の気持ちを込めて、発表の場を提供するイベント。
	親子で作るクラフト講座	5/7 11/13	母の日やクリスマスの時期に使える小物を親子で作製する小学生を対象としたクラフト講座。
	なゆた・映画祭	10/8	シニアのための名画を楽しむイベント。映画館にしばらく行っていない方も気軽に楽しめる映画祭。
	なゆた・お笑いライブ	11/3	お笑いやものまねを中心に、暗くなりがちなコロナ禍の世の中を明るくし、笑顔になるライブイベント。地元のタレントも出演し、厳しい状況下のタレントを応援。
	なゆた・ジャズフェスティバル	2/26	ジャズの生演奏で週末を楽しむコンサート。ジャズが盛んな浜松のニーズを満たすイベント。
	はまきた駅前 なゆた朝市	月2回程度	浜北駅前で開催する、なゆた恒例の人気企画を継続。地元産の新鮮な野菜の販売、地域出店者による販売。にぎわいを創出する駅前活性化事業。
	なゆた・浜北朝市	月1回程度	安くて新鮮な朝採れ野菜や果物、米の販売を開催。固定客のいる地域出店者により販売。
	青空ツイスティン	月1回程度	地元のオールディーズ愛好家にダンス活動の場を提供。発表の場の創出と駅前のにぎわいをつくる事業。

## (5) 浜松市天竜壬生ホール

### ① 運営の考え方

北遠地域における文化振興の拠点である天竜壬生ホールは、本地域で文化活動を行う団体と連携した舞台公演や展覧会を開催するとともに、地域の自然や産物に注目した事業を展開することにより、地域文化の活性化に取り組みます。加えて、区域内の学校や公共施設に出張してコンサートを行うアウトリーチ事業により、本施設まで足を運ぶことが困難な住民に生の演奏を届けます。

また、小中学生を対象に、通年でダンスとミュージカルのワークショップを行い、次の時代の文化の担い手を育成します。

そして、開館 20 年を迎える本年は、天竜材が薫るホールや自然豊かな屋外ステージなど、環境面で優れた本施設の魅力を広く発信することにより、市外からの利用拡大にも取り組みます。

### ② 重点的に取り組む事項

- ・地域文化の担い手となっている文化団体と協働し、鑑賞型の公演として MIBU ニューイヤーコンサートや、みぶ遠州の和太鼓、天浜線沿いの高校吹奏楽部による合同演奏会「MIBU 吹奏楽フェスティバル」、展覧会として、みぶ絵手紙展を開催します。
- ・アウトリーチ事業として、一流の演奏家によるクラシックミニコンサート「天竜区ふれあいコンサート」を、天竜区内の学校や公共施設に出張して行います。
- ・小中学生を対象にしたダンスとミュージカルのワークショップ「MIBU ワークショップ」は、月 2 回の練習と 12 月の成果発表公演を通じて、子どもたちの感性と創造性を育みます。
- ・地域の生産品である茶や天竜川水系二俣川の自然に注目し、壬生の花見茶席や育てよう！～アマゴの里親募集～など、地域資源を活かした文化事業に取り組みます。
- ・天竜材がふんだんに使われ音響に優れた楕円形のホールや、ガラス張りの外観、桜の木が立つ野外ステージなど多くの魅力を持つ本施設を、本地域の魅力と合わせて SNS などでも広く発信することにより、市外からの利用促進につなげます。

事業名	開催予定日	内容
指定事業（文化振興事業 2 事業）		
MIBU ニューイヤーコンサート 2023	1/28	地域の市民楽団と著名演奏家が協演する市民参加型コンサート。
長尾春花ヴァイオリンリサイタル	3/19	静岡県出身の優れた演奏家によるコンサート。
指定事業（芸術普及事業 7 事業）		
MIBU ワークショップ ダンスクラス	通年 (月 2 回)	専門講師による、小学生から高校生までを対象としたダンス及びミュージカルの通年指導。事業を通じて、芸術文化活動による地域児童の育成促進と地域文化の振興を図る。
MIBU ワークショップ ミュージカルクラス	通年 (月 2 回)	
みぶアーティストステージ	7/10	児童から大人まで出演者を公募し、ホールでステージパフォーマンスを披露。
MIBU 吹奏楽フェスティバル	11/3	天竜浜名湖鉄道沿線地域の高校吹奏楽部による合同演奏会。
MIBU ワークショップ 成果発表公演	12/24, 25	ワークショップ受講生たちによる、創作ダンスとオリジナルミュージカル作品の披露公演。

事業名		開催予定日	内容
	みぶ遠州の和太鼓 2023	2/5	静岡県西部の和太鼓団体によるライブコンサート。
	みぶ絵手紙展	3/9～19	天竜区内や近隣で活動する地域団体との協働企画による絵手紙展覧会。
自主事業 (7 事業)			
	ゆるやかワークショップ in 天竜	年 2 回	赤ちゃんと保護者を対象とした簡単なリズム体操講座。
	ステージ演奏体験	年 6 回	コンサートピアノを会館側で準備、ステージを一般開放し演奏体験の機会を提供。非公開のため、持ち時間を練習・撮影など自由に活用可能。ホール空き日を利用。
	壬生の響きコンサート	5 月 (調整中)	金曜の夜に行う、地域の演奏家によるカジュアルテイストのコンサート。親近感の持てる内容で構成。
	育てよう！～アマゴの里親募集～	11/27 2 月	アマゴの托卵と稚魚の放流を通して、地域の自然環境や歴史について学ぶ講座。
	壬生の花見茶席	3 月	季節を感じる呈茶サービスの実施。
	チケット受託販売	通年	当施設利用者の開催公演のチケット受託販売。
	魅力発信事業	通年	施設や地域の魅力や情報を Instagram 等の SNS を使って発信。
自主事業 (共催・協力事業 2 事業)			
	天竜区ふれあいコンサート	年 1 回 (調整中)	一流演奏家によるクラシックミニコンサート。天竜区内の学校や公共施設で無料開催し、ホールまで足を運びにくい地域に生演奏を届ける。 共催：天竜区ふれあいコンサート実行委員会
	天竜芸術祭芸能発表会	10/30	天竜区内で活動する文化団体が実施する芸能祭の舞台運営を支援。
その他の事業 (1 事業)			
	インターンシップ実習	夏期～ 秋期	県内・近隣県大学の学生を中心としたインターンシップの受け入れ。

## (6) 浜松市市民音楽ホール（サーラ音楽ホール）

### ① 運営の考え方

市民音楽ホール（通称サーラ音楽ホール）は事業を通じて、市民が主体となり、様々な取り組みに気軽に挑戦できる環境の整備に取り組んでいます。

令和4年度は、本市における次世代を担う文化人材の育成拠点として、子育て世代を対象にしたコンサートや浜松ジュニアブラス、ジャズ講座など、幼児から中高生まで幅広い年齢層の育成事業を展開します。こうした事業に大学生や文化活動者が参画することにより、次の担い手を市民が育成していく人材育成の循環システムを構築します。

また、市民のアイデアを形にするアイデア・チャレンジ事業により、市民の創造的な活動を促進するとともに、企業や地域住民など多様な主体が関わる事業を展開し、市民に愛され利用される施設を目指します。

### ② 重点的に取り組む事項

- ・浜松ジュニアブラス育成事業は、市内小学生の有志からなる合同吹奏楽団を、NPO 法人浜松市生涯学習音楽協議会の認定指導員が年間を通じて指導します。生涯学習における文化活動として、次世代の育成に市民が関わり、学びと教への循環システムを構築します。
- ・ジャズ育成事業は、市内の中高生を対象としたジャズクリニックで、講座終了後にプロのジャズプレイヤーである講師陣とホールでの成果披露演奏会を開催します。
- ・アイデア・チャレンジ事業は、当館を会場とした事業を公募し、企画段階から当日の実施までを包括的に支援する伴走型の事業です。既成の概念にとらわれず、応募者の自由な発想を尊重して実施することで、気軽に何にでも挑戦する環境を整えます。
- ・ハートフルコンサートや大学連携事業など、子育て世代や高齢者、障がいのある人など誰もが参画しやすいコンサートやワークショップを、地域に根差す大学や団体と協働で開催します。
- ・地域住民や地元企業と連携して、日頃の文化活動の発表や地元産品の物販などを行う秋祭りを開催し、市民に親しまれる施設を目指します。

事業名	開催予定日	内容
指定事業（次世代の音楽文化の担い手となる人材の育成 4事業）		
浜松ジュニアブラス育成事業 （小学生世代）	通年	浜松市内の小学生による合同吹奏楽バンドの育成をNPO 法人浜松生涯学習音楽協議会と協働で実施。
ジャズ育成事業 （中学生・高校生世代）	2月～3月	市内中高生を対象としたジャズクリニック。終了後には成果披露発表会を開催。講師陣とのホールでの演奏機会を提供。
大学連携事業 （大学生世代）	通年	地元の大学生が企画運営する子ども対象のワークショップ。同時に指導者の育成も図る。 共催：常葉大学浜松キャンパス
ゆるやかコンサート ゆるやかワークショップ	年1,2回	子育て世代を対象に、入退出可能な乳幼児向けのコンサートやワークショップを開催。
指定事業（市民の音楽文化活動の促進 6事業）		
伴走支援型事業 「アイデア・チャレンジ」	通年	当館を会場とした事業を一般公募し、選定事業について、構想段階から実施までを伴走支援。
ユニバーサル事業 「ハートフルコンサート」	通年	多目的室、ホールを利用し障がいのある人や、子育て世代を主な対象としたコンサートを開催。 共催：認定NPO 法人魅惑的倶楽部

事業名		開催予定日	内容
	サポーターズクラブ	通年	当館を拠点に活動する文化団体及び個人を人材データベースに登録してバンク化し、市域のアウトリーチ等に活用。
	運営協議会	通年	当館の主催事業及び施設運営について評価、指導の機能をもつ諮問機関を外部に設置。
	情報発信掲示板 コミュニケーションスクエア	通年	市内の文化団体や個人が活動を自由に発信できるよう、館内掲示スペースの活用及びウェブページの整備を行う。
	エントランスロビー活用事業	通年	エントランスロビーに市内芸術団体の作品を展示。
自主事業 (1事業)			
	地域・企業連携事業 (秋祭り)	11月	地域住民や企業と連携し、地域及び施設の活性化を目的に実施、文化活動の発表や地元産品の物販などを行う。
その他の事業 (1事業)			
	インターンシップ実習	夏期～ 秋期	県内・近隣県大学の学生を主としたインターンシップの受け入れ。

### 3 観覧施設を活用した資源の調査、収集、保存、展示による芸術文化の普及発展

#### (1) 浜松市楽器博物館

##### ① 運営の考え方

ウイズコロナにおいて、身近な人と身近な博物館を楽しんでいただきたいと考え、親しみやすい動物と楽器の関わりをテーマに、特別展「発見！楽器の動物園」を開催します。またシリーズ音楽の広場により、地域の音楽家に館内で演奏する機会の提供や、ワークショップエリアでの演奏体験や楽器づくりなどの講座を通じて、地域の皆様に親しまれる博物館を目指します。

展示においては、ギャラリートークやミュージアムサロンなどにより生の演奏を来館者に楽しんでいただくとともに、動画の配信により楽器の音を紹介します。また、展示に連動したレクチャーコンサートの開催により普段聞くことの少ない楽器を体感いただきます。

さらに、オンラインで館内を見学できるバーチャル博物館や動画の配信により、県内はもとより全国に向けて情報を発信するとともに、3年に一度、世界中の博物館関係者が一堂に会するICOM2022（国際博物館会議：チェコ・プラハ市）において、令和3年度に実施した日本の伝統楽器・琵琶に関する研究成果と、最新技術を活用した琵琶の演奏再現プロジェクトなどの取り組みを紹介します。

今後も、これまで培ってきた研究成果を活かした特別展や企画展の開催、収集資料や保存など、国内唯一の公立楽器博物館としての使命を果たします。

##### ② 重点的に取り組む事項

- ・親しみやすい動物をテーマとする特別展「発見！楽器の動物園」では、動物と関わりのある世界の楽器を展示し、人間と楽器の深い絆や結びつき、背景にある文化や信仰に焦点を当てます。
- ・企画展「蛇腹楽器展」は、監修に日本におけるバンドネオンの第一人者である小松亮太氏を迎え、蛇腹楽器の歴史や種類・音楽を展示し、西洋の楽器なのに、なぜか懐かしい音色で人々を魅了する蛇腹楽器の魅力を紹介します。
- ・夕方に開催する約1時間のイブニングサロンコンサートでは、アフガニスタンの音楽を紹介します。シルクロードの拠点として育まれた魅力的で豊かな音楽を、より多くの方々に知っていただくことを目的に開催します。
- ・レクチャーコンサートでは、インドやモンゴルのなどの音楽を紹介します。コロナ禍で海外からの来日が厳しいなか、日本在住の外国人の演奏家により本場の音楽を届けます。
- ・アウトリーチ活動である市内小学校への移動楽器博物館は、世界の楽器と音楽を通して、世界の人々の暮らしについて子どもたちの理解を深めることを目的とし、市内数校を巡ります。
- ・静岡大学や浜松市文化財課など関係機関と連携し、重要無形民俗文化財の指定を受けている西浦の田楽等、三遠南信地方に伝わる民俗音楽の調査研究を進めます。

事業名	開催予定日	内容
特別展・企画展・常設展 (5事業)		
企画展 「テルミン誕生101年 電子楽器の過去と未来」	4/1～4/12 (12/11～)	音楽シーンに革命を起こしてきた名器やその開発秘話から電子楽器の歴史をたどる。
特別展 「発見！楽器の動物園」	7/30～12/13	動物と関わりのある楽器を展示しながら、シンボルとしての楽器と動物のありかたを中心的に紹介。
企画展 「小松亮太監修 蛇腹楽器展」	1/14～3/31 (～5/9)	蛇腹操作による気流でフリー・リードを鳴らす様々な蛇腹楽器を紹介。 監修：小松亮太(バンドネオン奏者)

事業名		開催予定日	内容
ミニテーマ展示		通年	当館スタッフによるミニテーマ展示。
常設展の運営		通年	楽器展示室、体験室の管理運営。
ガイドツアー・ギャラリートーク・ミュージアムサロン・シリーズ音楽の広場 (4事業)			
展示室ガイドツアー		通年	職員によるテーマ別の展示解説ツアー。
ギャラリートーク		通年	職員による実演と展示解説。
ミュージアムサロン		通年	ゲストや職員による展示室でのミニレクチャーとミニコンサート。
シリーズ音楽の広場		通年	地域の音楽家や職員等による展示室でのミニコンサート。
演奏会 (レクチャーコンサート) (5事業)			
あれぐりあ大陸 (世界各国の民族楽器の演奏)		5/29	演奏：山田メイ、小針彩菜、武田耕平 ほか
シタール・タブラ・タンブーラ		7/9	演奏：アミット・ロイ ほか
モンゴルの音楽		8/7	演奏：マハバル・サウガゲレル ほか
フォルテピアノリサイタル		10/15	演奏：重岡麻衣、三宮正満、満江菜穂子 ほか
バンドネオン		1/14	演奏：小松亮太 ほか
演奏会 (イブニングサロンコンサート) (1事業)			
アフガニスタンの音楽		4/30	演奏：ちやるばーさ
講座・ワークショップ (7事業)			
講座 「蛇腹楽器講座」		1月～3月	講師：小松亮太
ワークショップ 「テルミンやマトリョミンの 演奏に挑戦しよう！」		4月～5月	講師：竹内正実、濱口晶生
ワークショップ 「青色LEDを使った電子楽器を作ろう」		7月～11月	講師：山脇一休、浜松城北工業高校生徒
ワークショップ 「うぐいす笛を作ろう」		7月～11月	講師：福原芳華
ワークショップ 「トーン・ホイール・オルガンを作ろう」		7月～11月	講師：R-MONO Lab

事業名		開催予定日	内容
ワークショップ 「篠笛」		2月	講師：福原芳華
ワークショップ 「とり笛を作ろう！」		通年	講師：当館ボランティア、職員
市内小学校移動博物館 (6事業)			
水窪小学校		6/6～7	市内小学校への移動博物館。お話と体験を織り交ぜて、クラスごとに世界の楽器文化を紹介。保護者や地域住民への開放も含む。
尾奈小学校		6/9～10	
亀玉小学校		6/15～17	
気田小学校		9/21～22	
三ヶ日東小学校		10/25～26	
浜名小学校		12/5～9	
楽器整理・調査・情報発信 (8事業)			
常設展整備		通年	展示室、体験ルームの展示替え。
CD・図録等の制作		通年	所蔵楽器音源のCD化・所蔵楽器の図録制作。
所蔵資料の調査・整理・修復		通年	所蔵資料の調査、整理、修理、修復。
広報誌「楽器博物館だより」発行		通年	年3回程度。市内小中学校・公共施設等に配布。
公式ホームページサイトの管理運営		通年	一般情報とアーカイブス、最新情報ほかを発信。
他施設での出張展示		通年	新東名サービスエリア展示協力(ネオパーサ浜松SA下り)。市民ミュージアム浜北「世界のラップたち」展示協力。
バーチャル博物館の展開		通年	オンラインで館内を見学できるバーチャル博物館を展開。教育の場での活用が見込まれる。障がいのある人やコロナ禍で来館できない方も、スマホやパソコンから当館を楽しむことが可能。
国際会議への参加と発表		8/20～28	国際博物館会議 ICOM・CIMCIM 年次大会(プラハ)への参加と発表。
他博物館・教育研究機関等との連携 (2事業)			
静岡文化芸術大学との連携事業		通年	大学生による展示室ギャラリートークやワークショップ等、静岡文化芸術大学と連携して実施。
音楽文化・芸能調査		通年	市内又は日本の伝承民俗芸能の調査。浜松市文化財課、静岡大学情報学部と連携して実施。

事業名	開催予定日	内容
研修受け入れ (5事業)		
学芸員実習	9月	学芸員資格認定の必須科目である実習。全国の大学生の応募者から選考。
インターンシップ実習	夏期～ 秋期	県内・近隣県大学の学生を中心としたインターンシップの受け入れ。
教職員研修	通年	浜松市の教職員の研修受け入れ。
中学生高校生職場体験学習	通年	浜松市の中学生高校生の職場体験受け入れ。
中学校との共同授業	下半期	世界の楽器を通しての国際理解教育。

## (2) 浜松文芸館

### ① 運営の考え方

浜松文芸館は浜松にゆかりのある文芸の先駆者たちの資料を収集・収蔵し、展示をしています。また、市民の文化向上と文芸活動の拠点として、市民文芸の発行と各種講座や講演会に取り組んでいます。

令和4年度の展示は、浜松文芸十人の先駆者やゆかりのある文芸人たちをより多く知ってもらうため、本館所蔵の資料や近年収集した貴重な資料を中心に展示し、紹介します。また、講座や講演会などではアンケートを実施し、来館者の意見を参考に講座や講演会などの内容の充実を図り、市民のニーズに応え特色あるものとします。

静岡大学地域創造学環の学生との連携では、若い人たちの感覚で文芸をとらえ、各世代にわたって親しみやすい施設を目指します。

### ② 重点的に取り組む事項

- ・企画展は、令和3年度に浜松市教育文化奨励賞を受賞した松平和久氏が所蔵する『万葉集』や『たけくらべ』など幅広い文学資料を展示し、松平氏の業績を称えとともに、多くの方に古典のおもしろさを知っていただくため「古典文学研究家松平和久氏所蔵品展」を開催します。
- ・特別収蔵展は、当館所蔵品を中心に伊佐見小学校の協力を得て、「森の水車」から「星の流れに」まで各世代に愛された「清水みのる」展を開催し、三世代が楽しめる展示を企画します。また、11月以降は、近年収集した所蔵品を中心に浜松ゆかりの文芸人たちの作品を紹介する「浜松文芸館の宝物」展を開催します。
- ・講座事業では、アンケートで希望の多かった古文書の入門的な講座として、変体仮名をよむ江戸の絵本講座を新たに設けます。また、夏休みの子ども向け講座は、静岡大学地域創造学環の学生の協力を得て、楽しいお話づくり講座を行います。
- ・当館の活動を広く市民の皆様知ってもらうアウトリーチ企画として、パネルや一部展示品を市内図書館や協働センター、小中学校、高校等へ貸し出す移動浜松文芸館を実施します。
- ・静岡大学地域創造学環やクリエイト浜松と連携し、学生のアイデアを取り入れた事業として、ガチャ機から出たお題で俳句を作るガチャ俳句の充実を図り、俳句の創作活動を通して若い世代が文芸に親しむ機会をつくれます。
- ・浜松市民文芸 68 集の発行では広報活動に力を入れ、応募者数の増加を図るとともに、特に若い年齢層の投稿を促し、老若男女に親しまれる地域の文芸誌とします。

事業名		開催予定日	内容
展示事業 (3事業)			
企画展 「古典文学研究家 松平和久氏所蔵品展」	4/1~6/19 (3/1~)	浜松市教育文化奨励賞を受賞し、浜松の文芸活動に貢献された松平氏の所蔵品展を開催。古典文学への造詣を深める展示とする。	
特別収蔵展 「浜松を愛した望郷詩人 森の水車 清水みのる」	7/1~10/16	当館「十人の先駆者」のひとり、作詩家の清水みのるを紹介。各世代が楽しめる展示とする。	
特別収蔵展 「浜松文芸館の宝物 一新収集資料を中心に」	11/1~2/12	当館の収蔵品の中から、新しく収集したものを中心に浜松ゆかりの文芸人の貴重な資料を展示。	
講座事業 (14事業)			
『源氏物語』入門講座	全6回	『源氏物語』のあらすじをまとめた『源氏物語忍草』の春宴から明石までを読む。 講師：松平和久	

事業名		開催予定日	内容
	古文書読解講座	全5回	古文書を読み解きながら、江戸時代の生活を知る。 講師：小木香
	江戸の絵本講座	全6回	変体仮名で書かれた江戸の絵本『あんぼたん』をよむ。 講師：勝田敏勝
	川柳入門講座	全5回	川柳の知識や作り方、鑑賞の仕方を学ぶ。(初心者向け) 講師：今田久帆
	短歌入門講座	全5回	短歌の知識や作り方、鑑賞の仕方を学ぶ。(初心者向け) 講師：村松建彦
	俳句入門講座Ⅰ・Ⅱ	各5回	俳句の知識や作り方、鑑賞の仕方を学ぶ。(初心者向け) Ⅰ：5～6月 講師：村松二本 Ⅱ：9～10月 講師：坪井孝之
	『平家物語』講座	全6回	『平家物語』の読解を通して当時の人々の死生観に迫る。 巻六～七をよむ。 講師：大石嘉美
	『おくのほそ道』講座	全6回	芭蕉と旅で出会った人物との関わりに着目し、「出会いと別れの物語」として読む。 講師：勝田敏勝
	朗読入門講座	全6回	短詩や随筆を読みながら、声に出すことと表現することの楽しさを味わう。 講師：堤腰和余
	朗読書講座	全6回	藤沢周平の短編を精読し、その世界を朗読で表現。 講師：堤腰和余
	篆刻入門講座	全5回	文字について学習し、書画作品等に押す自分の姓名印を作成。 講師：下石哲幸
	近代詩鑑賞講座	全5回	テキストとなる詩集を製本し、鑑賞。 講師：折金紀男
	『万葉集』講座	全6回	柿本人麻呂や高橋虫麻呂、大伴家持の歌をよむ。 講師：松平和久
	『古今和歌集』講座	全6回	雑歌下、長歌、俳諧歌、東歌などをよむ。 講師：松平和久
イベント事業 (1事業)			
	朗読会「志賀直哉を読む」	10/16	朗読を通して、志賀直哉作品を味わう。 講師：堤腰和余
講演会事業 (3事業)			
	講演会 『蒋介石の書簡外交』とは	5/14	歴史学者、経済学者の視点から蒋介石の書簡外交を詳しく掘り下げる。 講師：金原増吉
	講演会 「浜松ゆかりの近・現代作家たち」	8/7	夏目漱石、藤枝静男、吉田知子ら浜松ゆかりの作家たちを紹介。 講師：和久田雅之
	講演会 「芭蕉という革新者」	11/12	「革新者」という視点から芭蕉に迫る。 講師：高柳克弘

事業名		開催予定日	内容
子ども向け事業 (3事業)			
	夏休み絵本づくり講座	7/23	小学4年生から6年生対象。自分で作ったお話でジャバラ絵本を作成。講師：井口恭子
	楽しいお話づくり講座	7/31	小学1年生から3年生対象。自分の力で楽しいお話を作ることに挑戦。講師：井口恭子 協力：静岡大学地域創造学環
	夏休み読書感想文講座	7/23, 31	小学4年生から6年生対象。読書感想文を実際に書きながら、自分の感動を相手に伝える書き方を学ぶ。講師：林容子
浜松市民文芸事業 (1事業)			
	第68集の作品募集・選考・編集・発行	9～3月	68年の歴史をもつ市民の文芸作品発表の場として、小説、評論、詩、短歌など全9部門で文芸作品を市民公募・審査選考。優秀作品を浜松市民文芸として編集・発行。
資料の調査研究・保存・整理 (1事業)			
	資料収集・研究・整理事業	通年	資料収集対象者を中心とした資料の収集・研究・整理分類及び寄贈品の整理等。
教育機関との連携 (4事業)			
	入館者や学習見学者への案内・説明	通年	入館者への展示室案内や、市内小学校等の施設見学の受け入れ。
	職場体験学習・フィールドワーク受入	通年	フィールドワーク(学外実習)希望者や、市内中高校生の体験学習の受け入れと出前講座の実施。
	特別フィールドワーク 静岡大学地域創造学環との連携事業	通年	静岡大学が実施する地域創造学環フィールドワークとの連携事業。学生とともに文芸館の運営課題を研究し、広報展開や事業を開催。
	インターンシップ実習	夏期～ 秋期	県内・近隣県大学の学生を中心としたインターンシップの受け入れ。
クリエイトとのコラボ事業 (2事業)			
	フォト俳句展	8/21	クリエイト浜松の夏まつりの一環として、中学生や高校生が民間団体による写真展の写真を見て作った俳句を展示する。
	文芸館インフォメーションコーナーの開設	通年	クリエイト浜松1階に当館を紹介するコーナーとガチャ機を設置し、広く周知する。
その他事業 (6事業)			
	文芸館広報誌 「いざない 浜松文学紀行」発行	年4回	当館の展示や各講座、取組の様子、情報を順次紹介。
	浜松市文化振興財団自主出版 『風紋のアンソロジーⅠ、Ⅱ、Ⅲ』販売	通年	浜松ゆかりの作家らのエッセイや選句集などを収録した文庫本の販売。(500円/冊)

事業名	開催予定日	内容
『裾野の「虹」が結んだ交誼 曾宮一念、藤枝静男宛書簡』販売	通年	曾宮一念と藤枝静男の生い立ちから出会いまでと二人の書簡を時系列で紹介した本の販売。 (2,000円/冊)
出版物・地域伝統品の委託販売	通年	講座講師著書・地元発行「遠州文学散歩」の出版物や、やらまいかブランド「遠州綿紬」使用品、地元額縁店「ミニフォトフレーム」等の委託販売。
移動浜松文芸館	通年	当館での展示終了後、市内図書館や学校へ展示資料を貸し出し、展示・観覧してもらうアウトリーチ事業。
「BUNBUN はままつ」発行	年1回	浜松百撰との協賛事業。本館が募集した作品を浜松百撰誌に掲載。

### (3) 浜松市・市民ミュージアム浜北

#### ① 運営の考え方

市民ミュージアム浜北は、浜北文化センターの館内に設置された浜松市博物館の分館です。

全国でも出土例の少ない「見返りの鹿」埴輪や旧石器時代の人骨化石「浜北人骨」ほか、地域独自の文化資源を活かし、体験コーナーや講座の開催により教育普及事業や広報活動などを展開しています。

令和4年度は、若いファミリーに地域の歴史を楽しく学んでいただくため、子ども向けの講座を開催するとともに、地域の文化団体が多く所属する浜北文化協会と連携して展示発表の場を提供することにより、地域における文化活動の継続と活性化を支援します。

広報面では、浜北文化センターの広報媒体に当館の情報も掲載するなどして、相互連携による情報の発信に努めます。

#### ② 重点的に実施する事項

- ・子ども対象の体験プログラムとして、5月の連休には令和3年度好評のまが玉作り、夏休みには、機織り機体験や浜北の風車作り、藍のたたき染めなど、展示資料と関連する道具やおもちゃの製作体験とともに、クイズラリーで楽しく学習する機会を提供します。
- ・当館の展示をより深く理解していただくため、展示に関連するテーマを題材に講座やワークショップを開催します。
- ・浜北文化協会と連携して、文化団体の活動の成果を示す作品などを特別展示します。
- ・当財団所管施設の連携事業として、楽器博物館との共催により出張展示「世界のラップたち」を開催します。
- ・当財団のネットワークを活用し、展示室内で行うサロンコンサートを開催します。展示とコンサートのコラボレーションにより、ミュージアムにおける楽しみ方のひとつとして紹介します。

事業名		開催予定日	内容
自主事業 (11事業)			
ワークショップ 「まが玉作り」		5/3～5	5月の連休に、子どもを主な対象として実施するまが玉作り体験のワークショップ。
浜北文化協会連携 特別展示企画		6, 11月	浜北文化協会と連携し、所属団体の活動の成果を示す作品等を特別展示。
夏の特別プログラム		8/1～28 (20～30回)	児童や親子向けの体験ワークショップ。展示資料と関連するおもちゃや道具の製作体験や、クイズラリーで展示を楽しく学習する機会を提供。
①機織り機体験			
②浜北の風車作り体験・編み方教室			
③藍のたたき染め体験			
④昔の遊び体験			
⑤弓矢体験			
⑥クイズラリー			
ミュージアム講座		年2回程度	ミュージアムの所蔵品にまつわる歴史文化講座やワークショップを開催。

事業名	開催予定日	内容
ひだまりコンサート	3月下旬	展示室内で行うサロンコンサート。展示とコンサートを掛け合わせることでミュージアムの新たな魅力を引き出し、認知度を高める機会とする。
他施設資料の特別展示	4/1～5/24	他施設の優れた資料を当館で紹介。市楽器博物館の出張展示「世界のラップたち」を令和3年度から継続実施。
スタンプラリー	通年	1階「くらしの資料館」と2階「歴史資料館」の主要展示品の場所にスタンプスポットを設置し、館内を隈なく巡回することで学習を深めてもらう機会とする。
機織り体験コーナーの運営	通年	機織り機を常時可動な状態で展示し、体験希望者にはスタッフが織り方を指導。
教育プログラムの受け入れ	通年	中高生職場体験学習、校外学習等の教育機関の課外プログラムを受け入れ。
インターンシップ実習	夏期～秋期	県内・近隣県大学の学生を中心としたインターンシップの受け入れ。
浜北文化協会との連携	通年	機織りや藍のたたき染め等の伝統工芸の技術指導や助言を仰ぐとともに、協会の事務局運営を支援。

#### (4) 浜松市秋野不矩美術館

##### ① 運営の考え方

このたび、秋野不矩美術館の令和4年度から令和6年度までの3か年の指定管理を受託しました。当財団においては、初の美術系博物館施設の運営となります。

本館の設置目的である、文化勲章受章の日本画家・秋野不矩の功績を顕彰及びその作品を広く紹介し後世に伝えること、併せて市民の美術をはじめとする芸術文化の振興を図ることを念頭に、これまでの楽器博物館をはじめとする博物館相当施設での運営ノウハウを活かし、本市の貴重な資産である秋野不矩作品の展示・保存・調査研究・教育普及と建築家・藤森照信氏が設計した施設の適正な維持管理に努めます。

運営においては、専門性を保つため学芸員職員を配置するとともに、長年美術教育に携わった人物を館長職に採用します。そのほか外部アドバイザーとして、元県立美術館学芸部長を招聘します。併せて、静岡文化芸術大学や静岡大学等の地域研究機関及び浜松市美術館や一般社団法人秋野不矩の会等の専門機関とも連携し、適正な美術館運営に取り組みます。

##### ② 重点的に取り組む事項

- ・令和4年度の展覧会事業では、所蔵品展5本及び特別展3本を開催します。所蔵品展では、館所蔵及び寄託中の秋野不矩作品を様々な視点で分類し展示します。特別展は、秋野不矩を取り巻く作家らを探り上げ、秋野不矩の作風や時代背景にアプローチします。なお、展示事業は数年度前から企画調整されており、令和4年度の展覧会はいずれも浜松市が従前に計画した企画を当財団が開催実施する形式となります。
- ・展覧会のテーマと関連した事業を企画するほか、若年層の美術への関心を育てるため児童を対象とした夏休みワークショップを開催し、完成作品を館内市民ギャラリーまたは市内文化施設に掲出するなど、他文化施設と連携した事業展開を図ります。
- ・「ミュージアムコンサート」等、当財団の強みである音楽イベントを館内で開催し、新しい来館者層の拡大を図ります。
- ・広報面においては、美術館の公式サイトや年間カレンダーデザインを一新するとともに、TwitterやInstagram等のSNS公式アカウントを新規開設し、美術館としての情報発信強化に努めます。併せて、地域の文化・観光資源についても積極的に発信し、全国からの誘客を図ります。

事業名	開催予定日	内容
展示事業 (8事業)		
所蔵品展 (5事業)		展覧会名称・期間・出展作品は変更する場合があります。
秋野不矩 ゼロ発祥の地インド 新たなる世界へ	4/12～5/8	代表作「オリッサの寺院」や連作「ナヴァグラハ(九曜星)」を展示。秋野不矩が語った言葉とともにインドを主題とした作品を紹介。令和3年度からの継続企画。
秋野不矩 生命の輝きⅠ いきいきと(生き生きと)	5/14～6/26	第1回上村松園賞受賞作「少年群像」、晩年の大作「ガンガー1999」など、生命と自然の力を感じる作品を画業初期から後期にわたり紹介。
秋野不矩 生命の輝きⅡ さまざまな(様々な)	9/2～9/25	渡印前作品からインドを題材とした作品まで、人と自然をテーマに秋野不矩の幅広い作風を紹介。令和3年度購入所蔵品「暮れる海」も展示。

事業名		開催予定日	内容
	秋野不矩 生命の輝きⅢ みずみずしい (瑞々しい)	12/10～1/15	秋野不矩作品の主要テーマであるインド情景や人々の信仰を扱った作品「海辺のコテージ」「女神ナギニー」など、鮮やかな色彩の作風を紹介。
	秋野不矩 生命の輝きⅣ ざらざらと (ザラザラと)	3/25～3/31 (次年度継続)	「平原」「砂漠のガイド」など、秋野不矩作品の中でも特に自然と大地の触感を感じられる画を展示。次年度に継続展示。
特別展 (3 事業)			
	インドに魅せられた画家 秋野不矩と西田俊英展	7/16～8/21	インドの風景・人物・暮らしを採り上げた作家の作品を展示、その視点や作風を対比する。 共催：中日新聞東海本社
	日本画で綴る 源氏物語五十四帖展	10/8～11/27	古典「源氏物語」の第一帖から第五十四帖まで、様々な日本画家が描いた連作を一堂に展示。秋野不矩画の第五十一帖「浮舟」も展示。 共催：静岡新聞社・静岡放送
	中村正義展 -日本画を超えて-	1/28～3/19	秋野不矩同様、日本画の枠を超えた作品を描き、52歳の若さで逝去した中村正義の貴重な個展。 共催：中日新聞東海本社
展覧会関連事業・教育普及事業 (5 事業)			
	館内ギャラリートーク、ガイドツアー	通年	秋野不矩の人物や作品、本館建築をより知っていただくための解説。
	講演会事業	調整中	秋野不矩の人物像や作品、時代背景などを紹介する講演会。
	日本画と読む「源氏物語」(仮称)	調整中	特別展「源氏物語五十四帖展」に関連した講座。 講師：松平和久 協力：浜松文芸館
	児童向けワークショップ(仮称)	調整中	夏休み等の長期休暇期間に児童や親子向けの美術に親しむワークショップを開催。
	教育プログラムの受け入れ	通年	中高生職場体験学習、校外学習などの教育プログラムを受け入れ。
地域連携・広報・その他事業 (6 事業)			
	ミュージアムコンサート	不定期	市内演奏家を起用した館内ミニコンサート。作品を鑑賞しながら音楽を楽しむ。音楽ファンなど新規層の来館を促す。
	まちなかコンサート @秋野不矩美術館	不定期	芝生広場など館外を会場に、吹奏楽やモダンダンスなど様々なジャンル・年齢層が出演する野外イベント。
	浜松市美術館「市展」への協力	年 1 回	浜松市美術館「市展」の作品受付・返却業務。 受付会場：天竜壬生ホール (予定)

事業名		開催予定日	内容
	市民ギャラリーの貸出	通年	2階の企画展示室を市民ギャラリーとして貸し出し。創作活動の発表の場として活用いただく。 (特別展開催期間を除いて実施)
	ホームページ、SNSによる情報発信	通年	秋野不矩美術館の公式サイトを開設。 また Twitter、Instagram 等を活用して情報を発信。
	売店事業	通年	図録・ハガキ・グッズ等の販売及び在庫管理。
調査研究・保存・整理 (1事業)			
	作品および資料の研究・整理・収集	通年	秋野不矩に関連する作品や資料の研究・整理及び浜松市が主管する資料収集への協力。

## 令和4年度 収支予算

### 【予算の概要】

#### 1. 基本方針

令和4年度の当初予算は経常費用2,326,577千円とし、前年度比90,333千円減となります。

これは、秋野不矩美術館の指定管理開始による事業規模の拡大要因を含みながらも、減額要因として、前年度浜松国際ピアノコンクール本番年であったこと、さらには、既存事業の精査と各施設の管理経費の抑制等を図ったものです。

#### 2. 収支の状況

##### (1) 当期経常増減額

令和4年度の当期経常増減額は、△29,966千円を予定しています。特定費用準備資金や広域文化基金を充当することで、実質は当期経常増減額0円となる事業計画で進めます。

##### (2) 指定管理施設の状況

令和4年度は前年度に引き続く9施設に秋野不矩美術館を加え、指定管理施設は全部で10施設となります。これにより受取指定管理料は前年度比96,552千円増の1,314,368千円となります。

なお、施設利用料金収益はコロナ禍以前の稼働率への回復は厳しいものの、復調傾向となることが想定されるため、前年度比29,531千円増の630,041千円としました。

#### 3. 資金及び基金の活用

##### (1) 特定費用準備資金の取崩等

令和4年度は、第11回浜松国際ピアノコンクールの優勝者ツアー一年でしたが、令和3年度コンクールが中止となったことから、本年度は浜松国際ピアノコンクールの関連事業として過去の優勝者によるコンサートを実施します。これに伴い事業規模は縮小となるため、当初計画15,000千円の取崩額のうち、事業開催費用の財団負担分8,320千円のみを充当し、残額については目的外取崩を予定しています。

また、大型公演事業のための10,000千円の積み立てについては、ミュージカル「ミス・サイゴン」や、世界的な名演奏家たちによるコンサートシリーズ「アクト・プレミアム・シリーズ」等の事業に充当します。さらに、4年間で取り崩しを計画している浜松文化団体活動支援事業用の資金についても、当初計画に基づき4年目となる本年度は2,500千円を事業費用に充当します。

##### (2) 基金の活用

事業基金2,122千円を取り崩し、第68回浜松市芸術祭演劇・人形劇部門の事業費用に充当します。また、広域文化基金2,466千円を取り崩し、浜松市浜北文化センターにおける自主事業等に充当します。

この結果、令和4年度末の基金残高は、事業基金181,022千円、広域文化基金5,653千円を予定しています。

収支予算書(損益ベース)

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	5,210	5,240	△ 30
基本財産運用益計	5,210	5,240	△ 30
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	3,288	1,041	2,247
特定資産運用益計	3,288	1,041	2,247
③ 事業収益			
入場料収益	87,173	88,772	△ 1,599
チケット手数料収益	2,400	2,993	△ 593
イベント関連収益	14,336	15,149	△ 813
協賛金・共催事業収益	10,980	14,298	△ 3,318
受取会費	9,900	9,800	100
広告料収益	1,480	1,580	△ 100
使用料収益	6,565	1,026	5,539
手数料収益	8,883	8,641	242
図書販売収益	116	110	6
売上収益	2,231	5,725	△ 3,494
施設利用料金収益	630,041	600,510	29,531
観覧料収益	32,950	30,955	1,995
事業収益計	807,055	779,559	27,496
④ 受取指定管理料等			
受取指定管理料	1,314,368	1,217,816	96,552
受取市補償金	0	4,500	△ 4,500
受取消費税交付金	30	3,550	△ 3,520
受取指定管理料等計	1,314,398	1,225,866	88,532
⑤ 受取受託金			
受取事業市受託金	107,426	120,740	△ 13,314
受取受託金計	107,426	120,740	△ 13,314
⑥ 受取補助金等			
受取市補助金	60	0	60
受取補助金等計	60	0	60
⑦ 受取負担金			
受取事業市負担金	54,965	232,059	△ 177,094
受取負担金計	54,965	232,059	△ 177,094
⑧ 受取寄付金			
受取寄付金	100	100	0
受取仲道子供音楽事業資産振替額	1,108	1,075	33
受取事業基金振替額	2,122	2,155	△ 33
受取寄付金計	3,330	3,330	0

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
⑨ 雑収益			
受取利息	6	6	0
雑収益	873	839	34
雑収益計	879	845	34
経常収益計	2,296,611	2,368,680	△ 72,069
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	935	935	0
給料手当	350,967	354,533	△ 3,566
臨時雇賃金	43,343	35,925	7,418
退職給付費用	18,297	19,096	△ 799
福利厚生費	60,376	60,241	135
交際費	118	399	△ 281
会議費	120	236	△ 116
懇談会費	2,433	6,111	△ 3,678
旅費交通費	16,390	41,357	△ 24,967
通信運搬費	11,034	13,080	△ 2,046
減価償却費	12,792	12,792	0
消耗什器備品費	3,226	2,359	867
消耗品費	27,870	38,040	△ 10,170
修繕費	18,231	17,608	623
印刷製本費	31,898	40,035	△ 8,137
燃料費	337	253	84
光熱水料費	55,138	46,584	8,554
使用料賃借料	35,349	39,571	△ 4,222
保険料	4,268	4,262	6
諸謝金	40,332	66,494	△ 26,162
租税公課	53,860	53,061	799
支払負担金	715,754	693,563	22,191
支払助成金	5,286	12,580	△ 7,294
委託費	713,037	745,222	△ 32,185
手数料	12,423	21,280	△ 8,857
広告料	15,752	19,196	△ 3,444
支払利息	220	192	28
事業費計	2,249,786	2,345,005	△ 95,219
② 管理費			
役員報酬	623	623	0
給料手当	49,475	44,829	4,646
退職給付費用	3,897	3,709	188
福利厚生費	8,558	9,318	△ 760
交際費	80	80	0
旅費交通費	300	300	0
通信運搬費	260	220	40
減価償却費	903	903	0
消耗什器備品費	156	0	156
消耗品費	163	160	3
印刷製本費	60	60	0

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
使用料賃借料	500	500	0
保険料	638	660	△ 22
諸謝金	70	70	0
租税公課	817	343	474
支払負担金	490	470	20
委託費	9,470	9,426	44
手数料	300	190	110
支払利息	31	44	△ 13
管理費計	76,791	71,905	4,886
経常費用計	2,326,577	2,416,910	△ 90,333
当期経常増減額	△ 29,966	△ 48,230	18,264
当期一般正味財産増減額	△ 29,966	△ 48,230	18,264
一般正味財産期首残額	2,984,749	2,989,054	△ 4,305
一般正味財産期末残額	2,954,783	2,940,824	13,959
II 指定正味財産増減の部			
① 特定資産運用益			
特定資産受取利息	3	3	0
② 一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 3,233	△ 3,233	0
当期指定正味財産増減額	△ 3,230	△ 3,230	0
指定正味財産期首残高	199,886	201,571	△ 1,685
指定正味財産期末残高	196,656	198,341	△ 1,685
III 正味財産期末残高	3,151,439	3,139,165	12,274

(注) 収支予算書は、「公益法人会計基準の運用指針」(平成 20 年 4 月 11 日 内閣府公益認定等委員会)に示された様式に準じて作成している。

収支予算書(損益ベース)

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:千円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益					
基本財産受取利息	2,605	0	2,605	0	5,210
基本財産運用益計	2,605	0	2,605	0	5,210
② 特定資産運用益					
特定資産受取利息	8	0	3,280	0	3,288
特定資産運用益計	8	0	3,280	0	3,288
③ 事業収益					
入場料収益	87,173	0	0	0	87,173
チケット手数料収益	2,400	0	0	0	2,400
イベント関連収益	14,336	0	0	0	14,336
協賛金・共催事業収益	10,980	0	0	0	10,980
受取会費	9,900	0	0	0	9,900
広告料収益	1,476	4	0	0	1,480
使用料収益	6,379	186	0	0	6,565
手数料収益	8,759	124	0	0	8,883
図書販売収益	116	0	0	0	116
売上収益	2,231	0	0	0	2,231
施設利用料金収益	612,702	18,519	0	1,180	630,041
観覧料収益	32,950	0	0	0	32,950
事業収益計	789,402	18,833	0	1,180	807,055
④ 受取指定管理料等					
受取指定管理料	1,218,726	24,531	71,111	0	1,314,368
受取消費税交付金	30	0	0	0	30
受取指定管理料等計	1,218,756	24,531	71,111	0	1,314,398
⑤ 受取受託金					
受取事業市受託金	107,426	0	0	0	107,426
受取受託金計	107,426	0	0	0	107,426
⑥ 受取補助金等					
受取市補助金	60	0	0	0	60
受取補助金等計	60	0	0	0	60
⑦ 受取負担金					
受取事業市負担金	54,965	0	0	0	54,965
受取負担金計	54,965	0	0	0	54,965
⑧ 受取寄付金					
受取寄付金	100	0	0	0	100
受取仲道子供音楽事業資産振替額	1,108	0	0	0	1,108
受取事業基金振替額	2,122	0	0	0	2,122
受取寄付金計	3,330	0	0	0	3,330

(単位:千円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
⑨ 雑収益					
受取利息	0	0	6	0	6
雑収益	857	16	0	0	873
雑収益計	857	16	6	0	879
經常収益計	2,177,409	43,380	77,002	1,180	2,296,611
(2) 經常費用					
① 事業費					
役員報酬	924	11	0	0	935
給料手当	347,949	3,018	0	0	350,967
臨時雇賃金	43,164	179	0	0	43,343
退職給付費用	18,186	111	0	0	18,297
福利厚生費	59,861	515	0	0	60,376
交際費	118	0	0	0	118
会議費	120	0	0	0	120
懇談会費	2,433	0	0	0	2,433
旅費交通費	16,382	8	0	0	16,390
通信運搬費	10,932	102	0	0	11,034
減価償却費	12,442	350	0	0	12,792
消耗什器備品費	3,168	58	0	0	3,226
消耗品費	27,523	347	0	0	27,870
修繕費	17,846	385	0	0	18,231
印刷製本費	31,859	39	0	0	31,898
燃料費	331	6	0	0	337
光熱水料費	55,133	5	0	0	55,138
使用料賃借料	35,008	341	0	0	35,349
保険料	4,190	78	0	0	4,268
諸謝金	40,297	35	0	0	40,332
租税公課	52,958	902	0	0	53,860
支払負担金	691,872	23,882	0	0	715,754
支払助成金	5,286	0	0	0	5,286
委託費	700,201	12,836	0	0	713,037
手数料	12,330	93	0	0	12,423
広告料	15,752	0	0	0	15,752
支払利息	214	6	0	0	220
事業費計	2,206,479	43,307	0	0	2,249,786
② 管理費					
役員報酬	0	0	623	0	623
給料手当	0	0	49,475	0	49,475
退職給付費用	0	0	3,897	0	3,897
福利厚生費	0	0	8,558	0	8,558
交際費	0	0	80	0	80
旅費交通費	0	0	300	0	300
通信運搬費	0	0	260	0	260
減価償却費	0	0	903	0	903

(単位:千円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
消耗什器備品費	0	0	156	0	156
消耗品費	0	0	163	0	163
印刷製本費	0	0	60	0	60
使用料賃借料	0	0	1,680	1,180	500
保険料	0	0	638	0	638
諸謝金	0	0	70	0	70
租税公課	0	0	817	0	817
支払負担金	0	0	490	0	490
委託費	0	0	9,470	0	9,470
手数料	0	0	300	0	300
支払利息	0	0	31	0	31
管理費計	0	0	77,971	1,180	76,791
経常費用計	2,206,479	43,307	77,971	1,180	2,326,577
当期経常増減額	△ 29,070	73	△ 969	0	△ 29,966
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 29,070	73	△ 969	0	△ 29,966
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 29,070	73	△ 969	0	△ 29,966
一般正味財産期首残額	1,417,920	70,561	1,496,268	0	2,984,749
一般正味財産期末残額	1,388,850	70,634	1,495,299	0	2,954,783
II 指定正味財産増減の部					
① 特定資産運用益					
特定資産受取利息	3	0	0	0	3
② 一般正味財産への振替額					
一般正味財産への振替額	△ 3,233	0	0	0	△ 3,233
当期指定正味財産増減額	△ 3,230	0	0	0	△ 3,230
指定正味財産期首残高	199,886	0	0	0	199,886
指定正味財産期末残高	196,656	0	0	0	196,656
III 正味財産期末残高	1,585,506	70,634	1,495,299	0	3,151,439

## 資金調達及び設備投資の見込みについて

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

- (1) 資金調達の見込みについて  
当期中における借入れの予定はありません。
- (2) 設備投資の見込みについて  
当期中における重要な設備投資（除去または売却を含む。）の予定はありません。